

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和2年4月6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人愛生会	特別養護老人ホーム愛生苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・30V M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月10日	7台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>特別養護老人ホームの2階および3階居室に令和2年2月10日より見守りケアシステムベッドを設置し、ナースコールに接続して毎日使用しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①ベッドからの転落やずり落ちが未然に防げるようになりました。</p> <p>②従来のセンサーマットより誤作動が少なく、不必要な見回りが減り、介護職員の労力削減につながりました。</p> <p>③夜勤の職員への精神的な負担も減らすことが出来ました。</p> <p>④利用者の夜間の覚醒状況が把握でき、安全とケアの質の向上に繋がっています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>機能や使い勝手において、不都合な点はありませんでした。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年4月6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人愛生会	ショートステイ愛生苑	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・30V M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月10日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ショートステイの居室に令和2年2月10日より見守りケアシステムベッドを設置し、ナースコールに接続して毎日使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①ベッドからの転落やずり落ちが未然に防げるようになりました。 ②安全のための見回り頻度が約半分に減り、介護職員の労力削減につながりました。 ③夜勤の職員への精神的な負担も減らすことが出来ました。		
【介護ロボットの不都合な点】 機能や使い勝手において、不都合な点はありませんでした。		

(別紙 2)

介護ロボット使用状況報告書 ②実績報告時に提出

令和 2 年 4 月 6 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人愛生会	グループホームなごみ	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・30V M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 2 月 10 日	2 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>2 ユニットあるグループホームの各ユニットに 1 台ずつ、令和 2 年 2 月 7 日より見守りケアシステムベッドを設置し、ナースコールに接続して毎日使用しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①ベッドからの転落やずり落ちが未然に防げるようになりました。</p> <p>②従来のセンサーマットより誤作動が少なく、安全のための見回り頻度が約半分に減り、介護職員の労力削減につながりました。</p> <p>③夜勤の職員への精神的な負担も減らすことができました。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>機能や使い勝手において、不都合な点はありませんでした。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年2月17日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人陽光会	特別養護老人ホーム 陽光苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステムベッド FB-033・L-6・30V M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月17日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>入所者3名にて、導入日から使用しています。対象とした入所者は要介護度も重度でありながら、体動も激しく常に見守りを必要とする方です。</p> <p>3モーター機能はトランスする際に使用し、毎日離床時に役立っています。またセンサー機能は、臥床時に使用し、起床時までの安全確保に役立っています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>3モーター機能については、高さを変えられるため、スタッフそれぞれに合った位置でベッドへの移乗ができるため、より安全に行え、またスタッフの腰への負担軽減につながりました。</p> <p>センサー機能については、【ナースコールを押せない、押さないが動き出してしまう】などの事故リスクが高い入所者に対して以前より早く駆け付けることができ、対応することが出来るようになったので介護事故回避につなげることが出来るようになりました。</p> <p>今回の介護ベッド導入は、理学療法士からも導入が必要不可欠との意見もありましたので良いタイミングとなりました。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>機能については、今のところ不都合な点は思い当たりませんが、リモコンなどのフックの耐久性がやや心配との声が多く聞こえます。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年 3月 2日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人清規会	芙蓉荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2 (DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月 29日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>女性I氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臥床時、多動があり使用開始する。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多動があるが端座位や立ち上がる行為がほぼ無いため、正確は状況が把握出来て安心して使用できる。（以前は身体を動かす事や起き上がる程のみで伺うが何でもなかったり、すぐに入眠する状態だったが介護職員に気づき起きてしまう事が多かった。）</li> <li>・使用後は「端座位」モード設定で、頻回な訪室も無くなり、利用者の安眠・良眠に繋がっている。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では不都合なく利用しております。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月22日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 勝曼会	特別養護老人ホーム あすみの丘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	FB-033L-6B30VM2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月8日	5台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>毎夜間等、居室のベッドにて臥床時の見守り業務の1つとして使用。 認知症利用者のベッドからの起き上がりによる、転倒、転落防止。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b></p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>当該ベッド利用者の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時の体重測定ができることによる、月一回の体重測定の業務省力化が出来た。</li> <li>・起き上がりや端座位のモードにより、動き出しに気づくことが出来る。</li> </ul> <p>連動されていたコールが鳴り駆けつけるとベッドよりタオルを落としてしまいそれを拾おうと動き出していることがあり転倒・転落防止ができた、など</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>今回複数台の導入をはかったが、動き出し時のセンサーがナースコール接続型の為、当施設のコールシステムだと、優先設定が行えず、センサー反応時に他のコールが鳴っていると優先順位がわかりにくいことがわかった。今後ナースコールシステムの見直し、PHSの導入により、より業務省力化に寄与するための設備に変更することを検討していく事とする。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 1月 28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 清明会	特別養護老人ホーム はなみ ずき	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム内蔵低床3モーターベッド	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月21日	6台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>4つの動作に対する通知があり、またベッドから離床したら再度発報するので利用者の転倒・転落等の事故を未然に防ぐことが出来、今までのセンサーマットより効果が認められた。2度発報することで職員も優先順位を決めて介護に当たれるので業務効率の改善が見られた。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>最初のセッティング時に利用者毎の身体状況をしっかり把握した設定を行わないと、ナースコールが頻回に鳴ってしまい混乱が起きてしまう場合がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 1月 28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 清明会	ユニット型特別養護老人ホーム はなみずき	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム内蔵低床3モーターベッド	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月 21日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>4つの動作に対する通知があり、またベッドから離床したら再度発報するので利用者の転倒・転落等の事故を未然に防ぐことが出来、今までのセンサーマットより効果が認められた。2度発報することで職員も優先順位を決めて介護に当たれるので業務効率の改善が見られた。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>最初のセッティング時に利用者毎の身体状況をしっかり把握した設定を行わないと、ナースコールが頻回に鳴ってしまい混乱が起きてしまう場合がある。</p>		



(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 1月 28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 清明会	ショートステイ はなみずき	老人短期入所施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム内蔵低床3モーターベッド	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月21日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>4つの動作に対する通知があり、またベッドから離床したら再度発報するので利用者の転倒・転落等の事故を未然に防ぐことが出来、今までのセンサーマットより効果が認められた。2度発報することで職員も優先順位を決めて介護に当たれるので業務効率の改善が見られた。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>最初のセッティング時に利用者毎の身体状況をしっかり把握した設定を行わないと、ナースコールが頻回に鳴ってしまい混乱が起きてしまう場合がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 3 月 10 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 愛恵会	特別養護老人ホーム 愛恵苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033SW・L-6V・B30V M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 2 月 21 日	3 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>2月21日より連日使用。</p> <p>夜間頻繁に、起き上がる、柵を外す、車椅子へ移乗する等の転倒リスクの高い利用者様に、センサーの設定を端座位にして使用。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>センサーが反応して職員がベッドへ駆けつけた時には、ほとんどがベッドに座位の状態であり、立ち上がる前に対応できるため、事故防止につながっている。</p> <p>センサーの設定を起き上がりではなく端座位にできるため、頻繁に鳴ることがなくなり、職員の負担軽減につながっている。</p> <p>センサーの設定が細かくなっており、本人の状況に合わせて設定できるため、しっかり対応できるようになった。</p> <p>ご利用者様の周りに機器やコードが無いため、つまづく心配がなくなった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>ベッド上で体動があり、頭と足の位置が逆になると、センサーが反応しない。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人外房	特別養護老人ホーム外房	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	①フランスベッド 見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2(DM) ②テクノスジャパン サイドコール・コードレス (SC-R)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月 29日	① 2台 ② 3台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】		
①ベッドからの転落・転倒のリスクが高い入所者の方の見守り、転落予防の目的で毎日使用している。		
②転倒リスクのある入所者・ベッドの使用に慣れていない方、転倒予防・見守りの目的で毎日使用している。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】		
①5種類のモード・感度など入所者の方に合わせた設定ができる為入所者の方の行動を制限することなく夜間の動きを早めに知ることができ、職員配置が少なくなる夜勤者の精神的不安の軽減につながり、日中でもナースコールで知らせてくれるので助かっている。		
②マットレスに挟み込んで使用し、コードレスの為安全に使用できる。端座位になる前にセンサーが反応し入所者の方の動きを早めに知ることができ見守りに対する精神的負担の軽減につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】		
①現在端座位モードで使用している。就寝時臥床した後に正しくセンサーが反応するか音で確認しづらい為、慣れるまで多少不安がある。		
②マットの大きさが小さめでシーツの下に設置している為ズレているのを確認しづらい様に感じます。又、オン・オフがもう少し大きいと助かります。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 4 月 3 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 誠友会	特別養護老人ホーム栄白翠園	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	フランスベッド 見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2 (DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 1 月 23 日	1 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢筋力低下、認知症重度の転倒リスクが高い入居者に対して、主に夜間使用している。</li> <li>・週に2～3回程度センサーナースコールがあり、その都度対応できている。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その時の状況に合わせて寝返りや起き上がり、立ち上がりのモードが選択でき、柔軟な対応ができています。</li> <li>・誤報がほとんどなく、職員の負担軽減及び事故防止に役立っている。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在使用している限りでは、特に不都合な点は見受けられない。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年 3月 9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団健老会	姉ヶ崎ケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	フランスベッド 見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2(DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月28日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単独での離床は転倒リスクが高いにも関わらず、自己判断で離床を試みる利用者に対して、行動感知のために使用。</li> <li>○該当利用者の臥床時（食事・入浴・リハビリ・その他離床生活を行っている時以外）常時使用。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○動き出し・起き上がり・端座位と、利用者の行動習性や危険度に応じて細かく通知設定を行うことができるので、様々な状況に対応可能。</li> <li>○見守りが十分に行えない時でも、利用者の不意な行動に対応が可能なので、職員の負担軽減を図ることができる。</li> <li>○センサーを用途別（床敷きタイプ・着座時反応タイプ等）に準備しなくてもよいので、使用に柔軟性があり、場合によってはコスト削減も見込める。</li> <li>○センサーマットと異なり、視覚的には通常のベッドと相違ないので、利用者の心理的負担がない。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ベッドを平行にした通常の臥床状態から動き出した場合は概ね正確に反応するが、ギャッジアップ時から動き出した場合・円背等で体位が通常の方と異なる場合など、反応漏れがみられたことがあった。センサー反応の仕組みを理解して、利用者の動きを把握しながら通知設定を行う必要がある。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人豊立会	特別養護老人ホーム玲光苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	低床3モーターベッド FB-033・L-6・30V M2(DM) 見守りケシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 2月 14日	8台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>認知症の方や多動な方など、転倒や転落のリスクが高く、特に見守りが必要な方に対して使用。</p> <p>臥床時は毎日（日中は計2～6時間程度、夜間は計11時間程度）使用。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>ご利用者様の動きに合わせてしっかりと反応してくれるため、職員の精神的な負担が減った。</p> <p>ベッドのシーツ下に設置するタイプの離床センサーは、利用者様から「硬くて痛い」との意見が多かったが、これはベッドに内蔵されているため痛みの訴えが少なく、ご利用者様の身体への負担が減った。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>体重の軽い方だとセンサーが反応しないことがあった。</p> <p>センサーの感度が良すぎて少し動いただけでも反応してしまうことがあった。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人豊立会	特別養護老人ホーム玲光苑 なのはな館	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	低床3モーターヘッド FB-033・L-6・30V M2(DM) 見守りシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 2月14日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>認知症の方や多動な方など、転倒や転落のリスクが高く、特に見守りが必要な方に対して使用。        ベッド臥床時、およびベッド上で端座位や長座位時に使用。        毎日（日中は計5～6時間程度、夜間は計11時間程度）使用。</p> <p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>利用者様の動作に合わせてセンサーを設定できる（臥床時に起き上ったら鳴る、端座位時に立ち上がったら鳴る等）ので、どのような場面でも活用でき、巡回や見守り業務における職員の身体的・精神的な負担が減った。        デザインがおしゃれで、居室の雰囲気と合っており、利用者様・職員の評価が高い。        マットレスに敷くタイプのセンサーは、利用者様から「ゴツゴツして寝心地が悪い」との意見が多かったが、今回のベッドはセンサーが内蔵されているため痛みの訴えなどが少なく、身体への負担が減った。</p> <p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>操作方法やセンサー感度の設定など、職員が慣れ、覚えるまでに多少の時間が必要。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人市川朝日会	特別養護老人ホーム 市川あさひ荘	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム内臓 低床3モーターベッド FB-033L-6・B30V M2 (DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月17日	11台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 利用者様の状況に合わせて、見守りシステムベッドを使用。 4つのセンサー機能が設置され、未然に事故を予防できた。 また、低床ベッドということもあり、今まで布団対応だった利用者様にも活用ができた。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 単独の床センサー、サイドセンサー、背部センサーの必要性が減ってきており、購入がなくなった。 トランスの際に腰痛予防になり、楽にできるようになった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 特になし</p>		



(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人市川朝日会	介護老人保健施設 市川あさひ荘	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム内臓 低床3モーターベッド FB-033L-6・B30V M2 (DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月17日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>利用者様の状況に合わせて、見守りシステムベッドを使用。 4つのセンサー機能が設置され、未然に事故を予防できた。 また、低床ベッドということもあり、利用者様にとっても立ち上がり時、楽にできるようになった。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>単独の床センサー、サイドセンサー、背部センサーの必要性が減ってきており、購入がなくなった。 移乗、移動の際のトランスが楽になった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>特になし</p>		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 2 年 2 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 愛光	特別養護老人ホームはちす苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2 年 1 月 28 日	2 台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>令和 2 年 1 月 28 日より、主に転倒要注意者、パーキンソン症状の強い入居者、ショートステイ利用者（新規利用者）に使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>入居者の状態に合わせて、いろいろな設定が可能であるため、セッティング面で悩むことがない。特に夜勤帯においては、転倒要注意者がいる場合、頻回に訪室する、居室前のドアで記録をするなどの対応をしていたが、ベッドがあることで、そのような対応をしなくても良いため、心理的な負担が大幅に軽減されている。また、ベッドにセンサー機器類が内蔵されているため、外付けの機器と比べると配線や機器の突起物がなく、ベッド周りが整理されており安全性が確保される。適時に訪室ができるようになり、転倒や怪我を未然に防ぐ事例が増えてきている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>スイッチ類が改善されており、以前よりも使いやすくなっているが、まれにスイッチの押し方で、稀にスイッチが ON になっていないことがあったため、電源の ON・OFF が確認しやすいと良いのではないかと。また、超低床タイプで、同様の機能が付いた介護ベッドがあるとさらに便利であるという意見もあった。</p>		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 葵会	葵の園・沼南	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
認知症見守り支援 (施設)	【製品名】見守りケアシステム FB-033・L-2・B30V M2(DW)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年1月22日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>利用者様がベッドから起床される時に、利用者様に気づかれる事なく、自動感知する事により、ベッドを離れる前に職員が対応することができました。</li> <li>入所したばかりで不安な気持ちの利用者様は、起床のタイミングがわからないので、起床感知センサーのコールにより、事故を防げる事は職員側の不安を解消することになりました。</li> <li>体重も計測できる機能があったので、車椅子に移乗させる職員と利用者様自身の負担の軽減にもなりました。特に利用者様が体調不良の時にはとても助かりました。</li> <li>センサーが必要な方の識別やタイミングに職員が慣れてきたので、ベッド導入に対する負担のイメージは薄まっています。</li> </ol>		
<p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>入所したばかりの利用者様の状況は把握しにくいので、ロボットによる感知とその記録は、利用者様に職員が慣れて事前予測ができるまでの間、職員の作業</li> </ol>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月12日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 恒久会	介護老人保健施設 メディケアーやまゆり	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りシステム FB-033・L-6・B30V <sup>7</sup> M2 (DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月28日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>認知症利用者の臥床時における行動把握に毎日使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>センサーとベッドが一体となっているので、設定が簡単である。又、導入以前は見守りの為にかなりの頻度で訪室を行っていたが、訪室のタイミングがはかれるので職員の負担が軽減された。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーが過剰反応を起こすことがあり、体動が激しい方には使用が難しい。</li> </ul>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 恒久会	メディケアーならわ	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2(DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月28日	1 台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】		
常時 (主として夜間)、居室用の介護ベッドとして使用		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】		
<p>複数の利用者を同時に見守ることが可能になり、施設内各所にいる複数の介護職員へ同時に情報共有することが可能となった。そのため、対象利用者の転落や転倒のリスクを軽減するとともに、職員個々がゆとりを持った業務の遂行 (業務負担軽減) へとつながっている。</p> <p>また昼夜問わず使用できるため、早朝や夜間等の人員配置が減少する場面においての、利用者のリスク管理向上と職員の身体的・精神的負担軽減にもつながっている。よって、提供されるケアの質の向上効果がみられている。</p>		
【介護ロボットの不都合な点】		
<p>経済面での課題として、導入コストの高さがあり導入できる台数が限られる可能性が高い。機能面での課題として、使用準備などに手間がかかることと、機械操作が不慣れな職員に関しては操作方法が難しい。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年4月10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 徳寿会	特別養護老人ホーム シルバーガーデン	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2 (DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和2年2月5日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>毎日使用しており、日中の臥床時、おむつ交換、就寝時に高さを変えながら使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>生活のリズムが把握できるようになり、転倒防止に繋がっていると思われる。 低床であるため、就寝時の店頭の心配も軽減された。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>操作の簡単で、誤作動もなく使い勝手が良いと思われる。 センサーの反応が良く、職員がいつものことと思いつまむことがあり、巡回や訪室が疎かになることが考えられる。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 3月 19日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 恒久福社会	地域密着型特別養護老人ホーム さざなみ苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-033・L-6・B30V M2(DM)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 1月 28日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
常時（主として夜間）、居室用の介護ベッドとして使用		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
<p>センサーベッドを導入することで利用者様の見守りが可能になり、施設内各所にいる複数の介護職員へ同時に情報共有することが可能となった。それにより、迅速な対応が可能となり対象利用者の転落や転倒のリスクを軽減するとともに、職員個々がゆとりを持った業務の遂行、負担軽減にもつながっている。</p> <p>また昼夜問わず使用可能のため、早朝や夜間等の人員が減少する時間帯においても、利用者のリスク管理向上と職員の身体的・精神的負担軽減にもつながっている。よって、提供されるケアの質の向上効果がみられている。</p>		
【介護ロボットの不都合な点】		
<p>すべてのベッドをセンサーベッドへ変換することで利用者様の転倒転落のリスクが軽減されると考えられるが、導入コストの高さがあり導入できる台数が限られる。機能面での課題として、使用準備などに手間がかかることと、機械操作が不慣れな職員に関しては操作方法が難しい。</p>		